

# 令和3年度 第2回南丹市社会教育委員会 会議録

日 時 : 令和3年12月14日(火)午後2時から午後4時まで

場 所 : 南丹市役所 301会議室

出席者 : (順不同、敬称略)

社会教育委員 小南仁、清水範子、栗田千八栄、大嶋久美子、岡島賢峰、片山智文、片山幹雄、  
北村友子、古北真里、伊藤雅史、中川美登利  
(欠席委員:麻田健治)

事 務 局 木村教育長、浅田社会教育課長、辻課長補佐、八木課長補佐、  
井尻文化財保護係長、上原主任、八木図書職員、前原図書職員、今西主事補

傍聴人 :0人

## 1 開会

2 あいさつ 小南代表、木村教育長

## 3 協議事項

(1)南丹市かやぶき屋根保存事業補助金について  
資料により説明

○委員からの主な意見等

(委 員)南丹市内にかやぶきの家はどれくらいあるのか。

(事務局)平成25年時点で187戸あり、内訳は美山町151戸、日吉町23戸、園部町10戸、八木町2戸。  
市内全体の5分の4が美山町にある。

(委 員)葺きかえることができる業者の数はどのくらいあるのか。

(事務局)南丹市に登録している業者は合計で3件。

(委 員)市の登録事業者以外で修理をした場合は補助金対象とならないのか。

(事務局)対象となる。

(委 員)日吉町にある23件のかやぶき民家は居住されているのか、それとも空き家か。

(事務局)23件という数字は平成25年時点の記録であり、その後空き家になっている可能性はある。

(委 員)住民登録をされているかされていないかで補助金の割合が変わるが、住民登録をしていない所有者があるのか。

(事務局)セカンドハウスのような形で所有されている方がある。

(2)南丹市立図書館の取組について

資料により説明

○委員からの主な意見等

(委 員)各町の図書室によって開館時間が異なっているのは理由があるのか。

(事務局)各図書室の歴史があり異なっているが、今後検討をしていきたいと考える。

(委員)学校図書室は、充実しているのか。

(委員)高等学校は、ウェブで検索ができるようになっており、スマートフォンで検索をしている。現在、ひとり一台のタブレットがあり、本で調べものをする機会が減少しているため、授業で図書室を利用する時間を設けている。

(委員)児童一人当たりの冊数は充実している。

(委員)長期休業中に学生が勉強をするために中央図書館を利用をすることはあるか。

(事務局)基本的に図書館内の資料を閲覧していただくための机としている。八木図書室には学習室を設けている。

## (2)その他

1. 資料館・博物館からのお知らせ
2. 社会教育委員の研修会について

## 5. 閉会

\* 中央図書館の施設見学